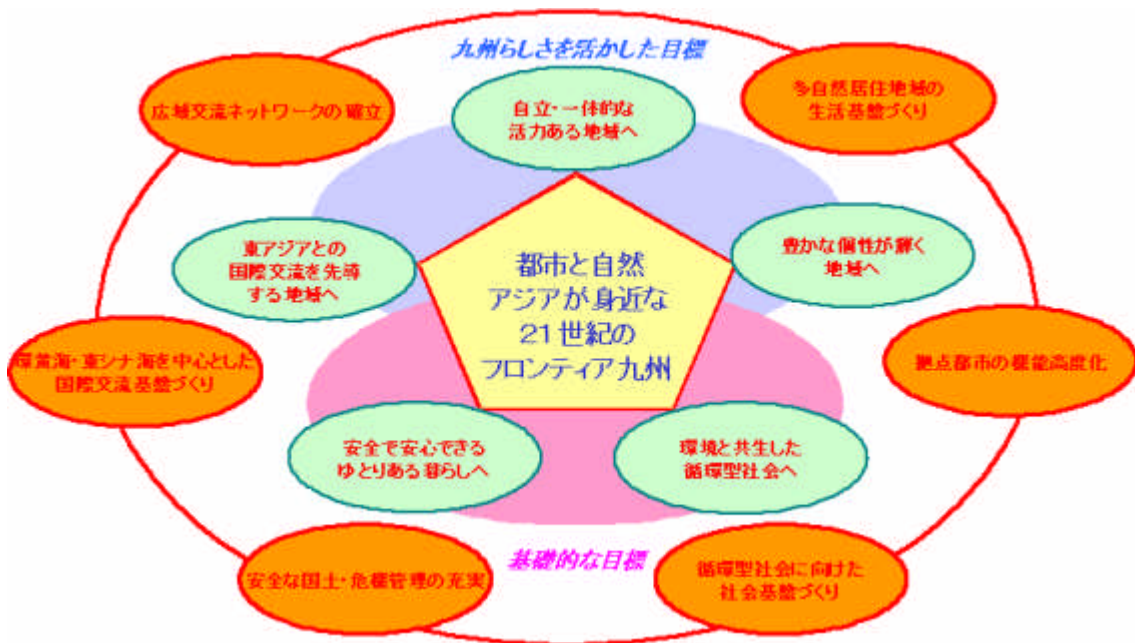


2 . 九州ブロックの目指すべき将来の姿

九州の一体的な発展に向けて、(1) 安全で安心できる・ゆとりある暮らし、(2) 環境と共生した循環型社会、(3) 豊かな個性が輝く地域、(4) 自立・一体的な活力ある地域、(5) 国際交流を先導する地域 の実現を目指す。

これにより、「どこに住んでいても豊かな自然と都市の利便性を享受できるような暮らし」と「東アジアと共に発展し活力と創造性あふれる産業経済」を実現し、さらには九州が一つの広域国際交流圏として東アジアにおける国際化を先導する地域として我が国の国土の発展にも寄与することとする。

九州の将来像



(1) 安全で安心できる・ゆとりある暮らし

九州は、活火山や特殊土壌地帯を多く抱え、台風や梅雨前線などによる風水害や土砂災害の多発地帯であり、今後も一層災害に強い安全な国土を目指す。

また、本格化する高齢社会や、人口の都市集中と中山間地域の過疎化、離島・半島における地理的制約などに対応し、誰もが安心して暮らせ、能力を十分に発揮し、生き生きと生活できるよう、安全と安心感が得られる地域を目指す。

九州は、中枢・中核都市が適度に分散し、都市と自然とが近接している。この利点を活かし、どこで暮らしても都市の利便性とともな豊かな自然を満喫できる、ゆとりのある生活を実現する。



図 筑後川の引堤



図 雲仙普賢岳・水無川の整備イメージ

(2) 環境と共生した循環型社会

海に囲まれ、山、清流など多くの豊かな自然が残されている九州では残された自然環境を美しく健全な状態で将来に継承するため、環境教育、環境活動の場としての森林、河川、海の活用などによって広く環境意識を醸成するとともに、自然環境の保全・再生等に取り組む。

また、閉鎖性水域など環境が悪化している区域については、環境負荷の抑制や自然界の浄化能力の維持・向上、効率的な環境監視などに取り組むことで環境の再生を図る。

大量生産、大量消費時代に経験した公害問題を省み、地球規模で深刻化する環境問題に率先して取り組み、資源の有効利用を考えリサイクルに努めるなど、環境に負荷の少ない循環型の社会を目指す。



図 松浦川アザメの瀬整備イメージ

(3) 豊かな個性が輝く地域

九州には、阿蘇・くじゅう、霧島、世界遺産の屋久島などの雄大な自然をはじめ、各地に歴史、文化、伝統技術を活かした地場産業、あるいは石橋などの土木遺産等を有する、多くの個性ある地域がある。

暮らしの豊かさや魅力は地域によって異なることを認識し、長期的な視点に立って、地域の持つ個性を活かし、地域住民が誇りをもって暮らせるとともに、来訪者にも感動や共感をもたらすような、周辺の自然景観や地域文化と調和した、美しくて魅力にあふれるふるさととなる個性豊かな地域を目指す。



図 大分駅周辺市街地再整備イメージ図

(4) 自立・一体的な活力ある地域

8世紀の律令国家時代に配置された9つの国分寺を引継ぐ藩、そして県の歴史にみられるように、昔から「九州はひとつひとつ」分かれて発展してきたが、交通網が飛躍的に整備されてきた現在では、日常の生活活動や民間経済活動など、行政区域の枠を超えて展開されている。

すでに九州内の基幹都市間は1日行動圏となりつつあるが、九州新幹線の整備、高度情報通信基盤の整備などにより、さらなる時間・距離の短縮が期待される。

このような社会資本を活かしながら、地域間の連携と交流により産業、観光、文化等、さまざまな分野で九州の可能性を高め、九州全体の発展を図る。

特に産業面では、農林水産業からナノテクノロジーなど研究開発型・知識集約型の新時代のリーディング産業まで、あらゆる産業において、どこよりも高品質な先端的製品を製造できるようたくましい産業の創造を支援する。

そのため、これまでの中央指向を脱却し、地域自らが新たな発想を生み出し、九州が一体となって育てていける、チャレンジ精神にあふれてのびのびと活動できる地域を目指す。



写真 東九州自動車道・宮河内インターチェンジ

(5) 国際交流を先導する地域

経済社会のグローバル化が進む中で、産業面では国際競争力強化の観点などから、近年では東アジアを中心とした海外進出が進み、国際分業体制が定着しつつある。

生活物資の東アジアからの輸入依存も高まり、ビジネス、観光等の様々な人的交流も進んできているなど、九州のみならず我が国の経済発展を図っていくため、東アジア諸国とのより一層の緊密な交流が求められる。

歴史的、地理的に東アジアとの繋がりが強い九州の交流範囲は、韓国との交流を基軸に中国東北部を含めた環日本海から、環黄海、台湾・香港に至る東アジア諸国へと拡大している。そして、東アジアを中心としてアメリカ、ヨーロッパなど世界各地との国際交流が深まっていく。九州は、このような様々な経済圏の核として東アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する地域を目指していく。



図 東アジア多頻度交流ネットワークイメージ

九州の将来像	重点事項
安全で安心できる・ゆとりある暮らし	<p>安全な国土・危機管理の充実</p> <p>災害を未然に防止するとともに被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できるようにする。</p> <p>災害やテロに備えて危機管理体制を充実する。</p> <p>陸・海・空の交通安全性を高め、事故やテロの未然防止と被害軽減を図る。</p> <p>水不足に悩まされることなく安全で安心な水の確保を図る。</p>
環境と共生した循環型社会	<p>循環型社会に向けた社会基盤づくり</p> <p>自然環境を保全し、新たな再生・創造に取り組む。</p> <p>廃棄物等の排出抑制、循環的な利用の促進を図る。</p> <p>環境負荷の低減に資する交通基盤の整備を強化する。</p>
豊かな個性が輝く地域	<p>拠点都市の機能高度化</p> <p>中心市街地の活性化等により、都心の顔となる活力あるまちづくりを進める。</p> <p>道路渋滞の軽減等により都市内交通の利便性の向上を図る。</p> <p>都市の緑化の推進や防災安全性の向上等により、安全で快適な暮らしのある都市・居住環境の整備を図る。</p>
自立・一体的な活力ある地域	<p>多自然居住地域の生活基盤づくり</p> <p>拠点都市との交通・情報アクセスを充実する。</p> <p>自然・歴史等を活かしたゆとりある居住地域を創造する。</p> <p>高齢化・過疎化に対応した生活基盤の確保を図る。</p>
国際交流を先導する地域	<p>広域交流ネットワークの確立</p> <p>産業経済・地域を支えるため、基幹都市間の3時間圏の形成を目指す。</p> <p>交通機関連携による総合的なネットワークの構築を進める。</p> <p>地域間の交流・連携を促進する。</p>
国際交流を先導する地域	<p>環黄海・東シナ海を中心とした国際交流基盤づくり</p> <p>東アジアのゲートウェイ機能を強化し、東アジア1日交流圏の形成を目指す。</p> <p>産業から観光まで国際競争力を高める基盤づくりを充実する。</p>